

地域・人づくり部の地域コミュニティ・人材育成等の取り組み

【地域振興課】 住民主体の地域づくりの促進

1 自治会活動の活性化等の支援（特徴的なもの）

- ・市内いっせい自治会加入促進強化事業：自治会への理解・加入促進を図るため、市内全世帯を対象に、共助の力や自治会の活動を紹介するリーフレットを配布する。
- ・共同住宅における自治会設立支援事業：マンションの管理組合や住民に自治会加入を働きかけを図るため、マンション管理士などの専門家を派遣する。

連携

2 まちづくり協議会の充実のための支援（特徴的なもの）

- ・地域カルテづくり事業及び地域カルテづくりフォローアップ事業：地域の課題解決に向けた活動を促進するため、地域情報や課題解決のアイデアを盛り込んだ地域カルテを作成し、新たな活動を実施するまち協を支援する。
- ・地域総括補助金：まち協を中心に各地域団体が連携・協力し、一体となった地域づくりを促進するため、事業ごとに地域団体に交付していた14補助金を一本化して支給。
- ・校区まちづくり支援事業：地域づくりの目標策定や地域課題の解決等の活動経費を支給。

基盤整備

3 市民センターの設置・活用：地域活動のための拠点施設

- ・平成6年度から小学校区に市民福祉センターを設置、平成17年1月に公民館と統合して市民センターに統一、現在135館（サブセンター6館を含む）
- ・活動内容：コミュニティ活動（まちづくり計画策定、地域防災・防犯活動）
保健福祉活動（健康づくり、デイサービス）
生涯学習活動（市民講座、クラブ活動）

【市民活動推進課】

1 NPO・市民活動の促進

- 市民活動サポートセンターを拠点として、NPO・市民活動や協働に関する相談助言、情報収集・発信、活動の場の提供等の支援を実施。
- 市民活動入門セミナー、講演会等の開催。
- NPO法人の設立・運営に関する支援。

2 NPOの育成・活動支援

- 経済的に自立し継続的に活動できるNPOの増加を図るため、資金調達力や事業の企画力向上を目的としたセミナー等を開催。
- まちづくりステップアップ事業。
- NPO公益活動支援事業。

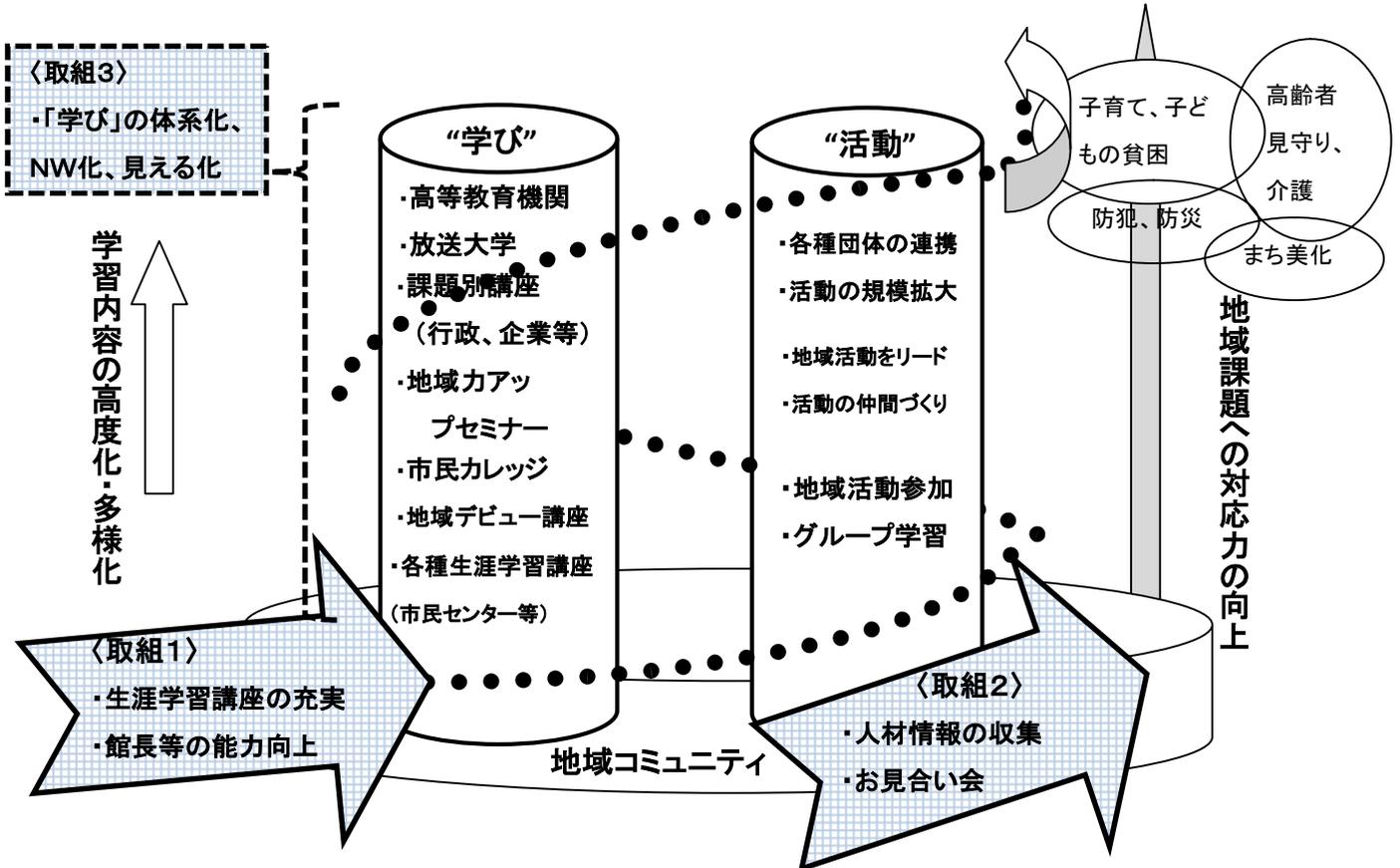
3 NPO・地域団体・企業・大学・行政等、多様な主体による協働の推進

- NPOとの協働によるまちづくり人材育成事業。
- 多様な主体による市民活動の輪づくり事業（企業、大学、NPOとの交流会の実施）。
- NPOと企業の協働マッチング事業。
- 市民活動団体等による環境未来都市推進支援事業。

北九州市“学びの環”推進プラン

「学び」と「活動」の“環” ⇒取組1、2

「学び」をつくるネットワークの“環” ⇒取組3

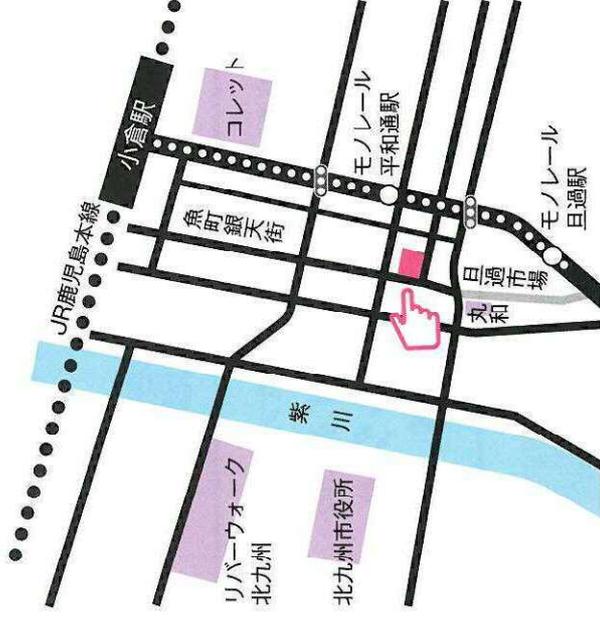


地域福祉計画推進懇話会 行政の取組

【担当課名】 長寿社会対策課			
取組名	1 年長者研修大学校	2 生涯現役夢追塾	3 いきがい活動ステーション
地域課題・取組のねらい	高齢者の教養、健康、趣味、レクリエーション等の生きがいづくりや健康づくりを促進し、地域活動を担う高齢者の人材育成を図る。	50 歳以上の世代を対象に、これまで培ってきた能力を眠らせることなく、地域での経済活動や社会貢献活動の担い手として活躍していく人材の発掘と育成を行う。	高齢者の社会参加やいきがいづくりを促進するため、高齢者の参加しやすいボランティア活動、生涯学習、仲間作りなどの情報を収集・提供を行う。
取組の概要	<p>(1)対象 60歳以上</p> <p>(2)所在地 ①周望学舎(小倉北区) ②穴生学舎(八幡西区)</p> <p>(3)取組内容 生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりや社会参加の方法等についての講座を実施。</p> <p>(4)定員 周望・穴生を合わせて約 1,000 名。 各学舎で年間 15 コースずつ講座を実施。 ※年間コース、短期コース、ボランティア等も含めた年間延べ利用者数は約 66,000 人</p>	<p>(1)対象 50歳以上</p> <p>(2)受講期間、受講回数 ・6月～翌年3月 ・週1回程度 ・年間約30回</p> <p>(3)取組内容 前期は、専門家による話題提供やディスカッションなどを中心とした「学び」。後期は、地域の課題解決に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、実践からの「学び」を実施。</p> <p>(4)定員 40名</p>	<p>(1)対象 概ね50歳以上</p> <p>(2)所在地 小倉北区魚町三丁目3-20 中屋ビル地下1階 ※H28.9.6 移転・リニューアルオープン</p> <p>(3)取組内容 高齢者が参加しやすいボランティア活動、生涯学習、仲間作りなどの情報収集・提供に加え、ボランティア団体等と活動を希望する高齢者とのマッチングなどを実施。</p>
取組の中で見えた課題	講座の充実など魅力ある運営に努めるとともに、地域活動を担う人材育成の場としての充実。	入塾生の確保、卒塾生による地域貢献の活性化などの強化。	利用者の増加に繋げるため、知名度の向上を図る。

いきがい 活動ステーションとは？

自分の「●いきがい」をみつけ
地域の中で「▲やくわり」を担い
世代を越えた新しい仲間たちと
「■つながり」をつくる。
シニアのみみなさんが
積極的になまづくりに
参加していただくことを目的に
生涯現役でいきいきと
活躍するためのタマリ場が
いきがい活動ステーションです。
学びやボランティア活動などの
専任コンシェルジュが
窓口での情報提供や相談に応じます。

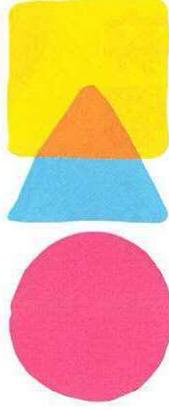
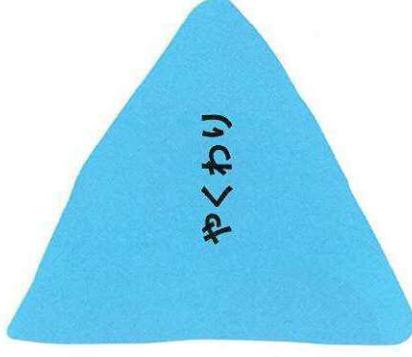


アクセス
・JR小倉駅から徒歩約10分
・且過市場前(丸和前)から徒歩約1分



いきがい 活動ステーション

北九州市



いきがい 活動ステーション

北九州市

〒802-0006 北九州市小倉北区魚町3丁目3-20
中屋ビル地下1階

TEL.093-967-3420 FAX.093-967-3421

メール info@iki-st.com

ホームページ <http://www.iki-st.com>

開館時間 9:30～20:00 (月曜・祝日・年末年始は休館)

※「いきがい活動ステーション」は、北九州市から委託を受け
NPO法人 里山を考える会が運営しています。

相談

「実践してみたい」「テーマが見つからない」

あなたの要望を実現するため

専任コンシェルジュ

がサポートします

場の提供
人材の提供

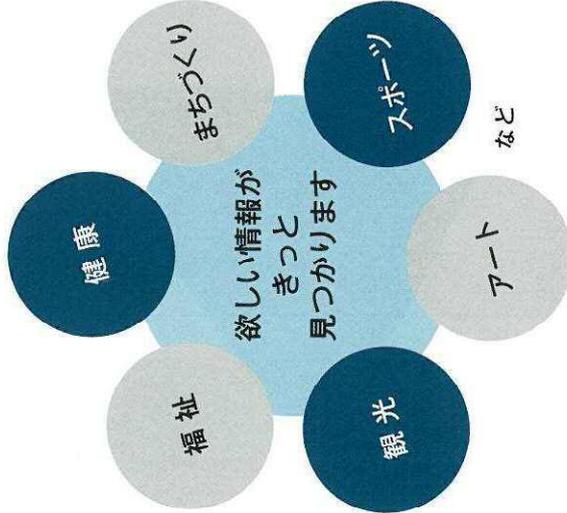
マッチング

情報

地域活動・生涯学習・趣味など

地域に密着した情報

を提供します



多様な方法で情報提供

SNS

かわら版

チラシ

掲示板

学習

学びを通じた生きがいづくりや

多世代・同世代の

新たな交流の場を提供します

おしゃべり交流サロン

参加者同士がおしゃべりしながら
地域活動やコミュニティなど
さまざまなテーマで交流を深めます

セカンドライフを知る会

充実したセカンドライフを実現している
先輩方の体験談などから
新しい一歩へのヒントを探します

読書会

参加者がいろいろな本を紹介し
意見交換を通じて交流を深めます

さまざまな団体と連携した
講座や教室を開催します

● ボランティア入門講座

● 脳トレ&体操講座

● 認知症サポーター養成講座

● 大人の英会話教室 など

体験

新しい社会参加や役割づくりに
向けた体験活動に参加できます

トライやるサポート

いきがい活動ステーションのスペースで
やりたいことを試すことができます

地域団体視察ツアー

地域活動に取り組む団体を
視察するツアーに参加できます

など

地域福祉計画推進懇話会 行政の取組

<p>【担当課名】 危機管理室危機管理課</p>
<p>【取組名】 みんな de Bousai まちづくり推進事業</p>
<p>【地域課題・取組のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 過去の大規模災害を踏まえ、「減災」対策の推進には自助・共助の力の向上が不可欠である。東日本大震災後の「北九州市地域防災計画見直し検討会」においても、地域防災力の重要性が指摘された。 ○ これらを受けて、地域での防災に係る課題を明らかにするとともに、地域防災力の強化につながる取り組みを進めるもの。
<p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災力の向上を目的に、平成 25 年度から「みんな de Bousai まちづくり推進事業」に取り組んでいる。 ○ 平成 25 年度は、本市防災アドバイザーの片田教授を座長に、有識者や市民代表、大学生などで構成される「懇話会」と、自治会の代表、民生委員、PTA、地域の企業、商店街、介護事業者、障害者、外国人など、様々な立場の皆さんに参加いただく「車座集会」を区ごとに開催し、地域防災の課題や取り組みについて意見交換を行った。 ○ それらの意見を参考に平成 26 年度から、地域の特性を踏まえた防災計画を作成する「モデル事業（小学校区単位）」と、地域防災の新たな担い手を育成する「人材育成事業」を実施している。 <p>※取り組みの概要は別紙資料のとおり</p>
<p>【取組の中で見えた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 懇話会、車座集会では、地域のつながりの希薄化が不安、要援護者が地域とつながる仕組みが必要である、災害への適切な危機意識を育てること、災害から命を守ることへの「わがこと感」を持ってもらうことが必要、関心のない人をどのように巻き込むのか、新たな担い手の育成や子ども達を育む環境が必要、などの意見が示された。 ○ こうした意見を踏まえ「防災で地域をつなぐ」ことを目標に、モデル事業や人材育成事業に取り組んでいる。

みんな de Bousai まちづくり推進事業 《危機管理室》

概要

地域防災力の向上を目的に、平成25年度から「みんな de Bousai まちづくり推進事業」に取り組んでいます。

平成25年度は、本市防災アドバイザーの片田教授を座長に、有識者や市民代表、大学生などで構成される「懇話会」や、様々な立場の皆さんに参加いただく「車座集会」を区ごとに開催し、地域防災の課題や取り組みについて意見交換を行いました。

それらの意見を参考に平成26年度から、地域の特性を踏まえた防災計画を作成する「モデル事業（小学校区単位）」や、地域防災の新たな担い手を育成する「人材育成事業」を実施しています。

防災を考える際の共通目標

わたしたちのまちから自然災害による犠牲者を出さない

「一番弱き者が一番被害にあいやすいことをみんなの問題としてとらえる」という意味も込めている

- 第3回までの懇話会の協議から
見えてきた取り組みの方向性 ●

「わがこと感」
自分のことに
置き換えて考える

市民活動をつなげる、
組み合わせる

リアルに
感じてもらうための工夫

要援護者が
地域とつながる
仕組みづくりが必要

- 車座集会から見えてきた取り組みの方向性 ●

顔の見える地域のつながりづくり
要援護者を含め、
地域のつながりの希薄化を不安視する声が多い

- 第4回懇話会で見えてきたこと ●

●地域の現状に関する課題●

- どのようにして地域の人の既存の仕組みや取り組みへの固定観念を払拭するか
- みんなで一緒にやろう！となれる共通課題をどこにおくか。
- 町内会や地域活動などに参加していない人をどう巻き込むか。

* みんな de Bousai まちづくり事業の基本姿勢 *

防災力のある子どもを地域で育み、地域の住民を育てていくプロジェクト

* 地区Bousai会議の位置づけ *

「Bousaiわがこと感」意識の高揚を図る絶好の機会

- 自分たちの命の危険が迫っているという自覚をどう育てるか ●

必ず出てくる共通の課題

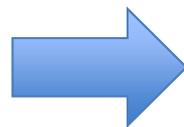
どうやって関心のない人を巻き込むか

平成26年度よりスタート

地域防災の
新たな担い手育成のために

みんな de Bousai 人材育成事業

- 北九州市立大学での
防災科目の開講
- 公開講座の実施 など



人材育成事業を受講した学生は、
モデル事業に参加

地域ぐるみの
防災ネットワーク構築のために

みんな de Bousai まちづくりモデル事業

- 地区Bousai会議の設置
- 地区防災計画の作成
- 防災訓練の実施 など

これまでの懇話会・車座集会での議論

防災に関する新たな担い手

地域が主体の防災活動

みんなde Bousai 人材育成事業

○北九州市立大学との防災協定に基づく
授業科目「地域防災への招待」



【履修者】
●H27年度 22人
●H28年度 81人

○公開講座



【受講者】
●H26年度 67人
●H27年度 73人
●H28年度 100人 (予定)

○大学生アドバイザーの地区Bousai 会議への参画



【参画者数】
●H26年度 延べ67人・回
●H27年度 延べ85人・回

○北九州市立大学の防災に関する取組み

地区Bousai 会議の設置

○H26・27年度モデル実施



・門司区 田野浦校区 ・小倉南区 志井校区
・若松区 二島校区 ・戸畑区 鞆ヶ谷校区

- 地区防災計画の作成
- 情報伝達から開始する避難訓練の実施

○H27・28年度モデル実施



・小倉北区 足原校区 ・八幡東区 高槻校区
・八幡西区 塔野校区

- 1年目で地区防災計画(たたき台)の作成
- 地域住民の連絡網の再構築
- 訓練を継続のための仕組みの検討

得た成果・課題
ノウハウを検証

一般事業化へ
(予定)